

歯科審美「投稿規程」および「投稿の手引き」について

一般社団法人日本歯科審美学会
編集委員会委員長 宮崎 真至

『歯科審美』の「投稿規定」は、必要事項を加え、不要な項目を削除・修正するなどの改定を経てきました。しかし、この「投稿規定」の中には、字数・行数の指定などの原稿様式を含め、具体的な執筆に関わる細かい項目や注意事項も多く含まれていました。また、「規定」は個々の条文を、「規程」は規定の全体を指します。規定と規程は混同されている例も多くありますが、本来は異なる概念です。

そこで、従来の「投稿規定」を整理し、投稿に関わる重要項目としての「投稿規程」と、執筆に関する具体的な項目である「投稿の手引き」に分け、皆様にお示しすることといたしました。また、これによって「投稿の手引き」については、必要が生じた場合に編集委員会によって迅速に変更できるようになります。

『歯科審美』第38巻第1号の投稿論文（2025年5月20日締切）より、新しい規程と手引きが適用されます。投稿を検討される皆様には、『歯科審美』の最新の「投稿規程」ならびに「投稿の手引き」をご参照くださるよう、お願い申し上げます。

本規程ならびに手引きは、『歯科審美』第38巻第1号の投稿論文（2025年5月20日締切）より適用されます。第37巻第2号（2024年11月4日締切）までは、本誌122ページに掲載している現行の投稿規定に準じてご投稿ください。

「 歯 科 審 美 」 投 稿 規 程

（第38巻1号投稿論文から適用）

1. この学術雑誌は、研究成果を論文発表することによって、歯科審美学の発展に寄与することを目的としている。そのため、歯科審美学の基礎、臨床、教育ならびに歯科審美学を基盤とした歯科医学全般に関する論文を掲載する。
2. 論文の種類は、1) 総説論文、2) 原著論文、3) 臨床論文（症例報告、各種術式、臨床のヒント、調査報告）、4) 誌上セミナー、5) 特集、6) その他、に分類する。
3. 本誌への投稿は特別の場合を除き、一般社団法人日本歯科審美学会会員に限る。ただし、編集委員会が特に認めたものはこの限りでない。
4. 原著論文および臨床論文の内容は、過去に他誌に掲載された、現在投稿中あるいは掲載予定でないものに限る。
5. 本誌の発行は、原則として3月および9月に行うこととし、必要があれば増刊する。
6. 論文の採否は、査読を経て編集委員長が決定する（編集委員会からの依頼によるものを除く）。
7. 受付日は、投稿原稿が学会事務局へ到着した日付とする。また、受理日は、査読担当者から採択可と判定された日付とし、掲載順序は、受理順とする。なお、採択論文の掲載証明は希望がある場合に発行する。
8. 投稿原稿は、日本語または英語で簡潔に記述されたもので、別に定めた投稿の手引きの最新の版に従うこととする。
9. 論文投稿はE-mail投稿とし、投稿原稿の送付先は学会事務局とする。
10. 著者による校正は、原則として1校までとし、著しい字句の変更追加、削除は認めない。校正刷が指定された期日に返送されない時には校正が無効となることもある。
11. 本誌に掲載された論文の著作権（著作権財産権、Copyright）は、本会に帰属する。ただし、本会が必要と認めた時あるいは外部からの引用の申請があった時は、編集委員会で審議し、掲載ならびに版權使用を認めることがある。
12. この規程の改廃は、編集委員会で審議し、理事会に諮る。

附則

1. 本規程は2024年6月23日から施行する。

「歯 科 審 美」 投 稿 の 手 引 き

(第 38 卷 1 号投稿論文から適用)

1. 原稿の概要

- 1) 和文論文は口語体、新仮名づかい、横書きとし、漢字は学術用語など特殊な場合を除き常用漢字を用いる。用紙は A4 判用紙を縦に使用し、1 頁当たり 40 字×20 行、フォントを明朝体とし、12 ポイントの文字で印字する。余白は天地左右 25 ミリ程度とする。数字、欧文はすべて半角で入力し、英文における単語間は半角とする。外国人名および地名はなるべく原語とする。
- 2) 英文では フォントを Times New Roman とし、12 ポイントの大きさの文字を用いて作成する。スペースは半角にする。
- 3) 原著論文は、原則として和文（英文）表紙、抄録、本文（緒言、材料および方法（症例の概要）、結果あるいは成績、考察、結論）、文献、英文（和文）表紙、英文（和文）抄録、図表の説明、図表の順とし、表紙から通しページ番号をつける。原著論文以外の総説論文、症例報告なども、原則としてこれに準ずる。臨床論文（症例報告）の本文は、緒言、症例の概要、治療内容と経過、考察、結論とする。

2. 倫理規定

- 1) 人（資料・情報を含む）を対象とする臨床研究、疫学研究に関しては「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従ったものでなければならない。研究対象者および患者からインフォームドコンセントを得ていること、また所属機関の倫理委員会の承認を得ていること（承認年月日、承認番号を含む）を明記しなければならない。また、発表資料等から研究対象者が特定されないように、匿名化されている情報（特定の個人を識別することができないものであって、対応表が作成されていないものに限る）にするなど、個人情報の保護を徹底すること。
- 2) ヒトゲノムあるいは遺伝子解析に関する研究の場合には、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」および「遺伝子治療等臨床研究に関する指針」に従ったものでなければならない。研究対象者および患者からインフォームドコンセントを得ていること、また所属機関の倫理委員会の承認を得ていることを明記しなければならない。投稿にあたり被験者全員の同意文書を添付する。また、発表資料等から研究対象者が特定されないように、匿名化されている情報（特定の個人を識別することができないものであって、対応表が作成されていないものに限る）にするなど、個人情報の保護を徹底すること。
- 3) 動物を対象とする研究の場合には、「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針」等を遵守した上で、各研究機関が定めるガイドラインに従って、動物実験等を適正に実施しなければならない。本文中に所属機関および実施機関の動物実験委員会等の承認を得ていること（承認年月日、承認番号を含む）を明記しなければならない。

3. 原稿の記述様式

1) 表紙

- (1) 和文表紙には、中央上段から和文による表題、著者名、所属機関名、3～5 語のキーワード、責任著者連絡先を記載する。表題には原則として略号を用いず、製品名の記載も避ける。
- (2) 英文表紙には、中央上段から英文による表題、著者名、所属機関名、3～5 語のキーワード、責任著者連絡先を記載する。表題には原則として略号を用いず、製品名の記載も避ける。
- (3) 英文表題は冠詞、前置詞、接続詞などの付属語ならびに慣用の特殊語を除き、単語の先頭文字を大文字、以下を小文字で記す。また、ハイフンでつながる複合語の場合、ハイフンの後は小文字で記す。
- (4) 責任著者連絡先は、和文・英文とも著者 1 名の氏名・所属機関・住所・TEL・FAX・E-mail を記載する。

2) 和文抄録および英文抄録

- (1) 原著論文および臨床論文では、研究目的、材料および方法、結果、ならびに重要な結論を含む和文および英文抄録をつける。
- (2) 和文および英文抄録は、原著その他では原則として以下の 4 項目（目的 Purpose、方法 Methods、結果 Results、結論 Conclusion）、症例報告では原則として以下の 3 項目（症例の概要 Case、治療内容と経過 Treat-

ment and Course, 結論 Conclusion) を太字で項目立てし、和文では 400 字以内および英文では 200 words 以内で簡潔に記載する。

3) 本文

(1)-① 原著論文では、緒言、材料および方法（症例の概要）、結果あるいは成績、考察、結論とし、見出しの語で示し、それらには数字をつけない。

(1)-② 臨床論文（症例報告）では、緒言、症例の概要、治療内容と経過、考察、結論とし、見出しの語で示し、それらには数字をつけない。

a. 緒言は、症例の特徴や診療の問題点を述べる。

b. 症例の概要は、以下のものを記載する。

- ・患者：年齢、性別

- ・初診日：西暦で年、月

- ・主訴：患者の主訴（病名・診断は記載しない。なお、“障害”は病名で用いる用語である）

- ・既往歴：全身的、歯科的（記載内容がない場合は、“特記事項なし”と記載）

- ・現病歴：当該部位の初診までの病歴

- ・現症：全身所見、口腔内所見（前歯部審美不良の改善を課題とする場合は前歯部の写ったスマイル時の口元写真があることが好ましい。）

- ・検査結果：エックス線所見、臨床検査所見、術前の機能評価、その他

c. 治療内容と経過は、以下のものを記載する。

- ・治療方針および計画：治療順序、インフォームド Consent の内容などを含む。

- ・処置内容：前処置、術式、衛生士との連携、技工士との連携など

- ・術後の経過

- ・術後の機能評価

d. 考察は、処置内容や術後経過に対して議論する。

e. 結論は、正確かつ簡潔に症例について記述する。

(2) 文中の項目を細分する場合は 1・2・3……, 1)・2)・3) ……, (1)・(2)・(3) ……, ①・②・③……, a・b・c……, の順とする。

(3) 製品名、製造者名を原語で示す必要があれば、単語の先頭文字を大文字、以下を小文字とする。原則として、和文による論文では「一般名（製品形式名、製造会社名、海外製品は国名）」、英文による論文では「一般名（製品形式名、製造会社名、都市名、(米国は州名、) 国名)」のように記載し、®や TM などの商標登録表示は不要とする。

(4) 学名二名法の場合は、属名の単語の先頭文字を大文字、以下を小文字とし、イタリックで記す。たびたび使用する場合は、2 回目以後では属名を省略し、単語の先頭文字で表して差し支えない。

例) *Streptococcus mutans* → *S. mutans*

(5) 文中の数字の取り扱いは下記の通りとする。

- ・アラビア数字（算用数字） 数量を示す場合

- ・日本数字（漢字） 数字を含む名詞、形容詞、副詞など

例) 第一大臼歯、一部分、二次齲蝕、十二指腸、十数回

(6) 単位記号は原則として国際単位系 (SI) とし、数字はアラビア数字とする。

(7) 外国語の人名は、姓のみを記す。

(8) 国名および地名は本文中では原則としてカタカナ、文献欄では原綴のままとする。外国語の書名は日本語に訳さず、原綴のままとする。

(9) 用いた統計手法、有意水準（例： $\alpha=0.05$ ）あるいは危険率（例： $p<0.05$ ）などと記載する。

4) 謝辞、その他の特記事項および利益相反

(1) 謝辞、研究補助金についての記載、その他の特記事項は結論の末尾に付記する。

(2) 利益相反 (COI) の有無を文献の前に記載する。COI がなくても「本研究に関し開示すべき COI 状態はない」等と記載する。

5) 文献の記載様式

- (1) 本文で引用文献は引用順に番号を付し、本文中の引用箇所には片括弧を用い右肩上付で示し、本文の末尾に一括して引用順に記載する。同一箇所でも複数引用した場合は年代順とする。

例：「著者ら³⁾は」「～ことが報告されている^{7,8)}」「過去の研究¹⁰⁻¹⁵⁾では」

- (2) 著者名は姓、名（外国人はイニシャルのみ）の順とし、筆頭著者を含めてすべてを記載する。

- (3) 論文題目は、日本語論文の表記は原著の表示に従う。英文論文の場合は、冒頭の語の頭文字のみ大文字とする。

(4) 記載例

①雑誌論文

- 文献番号) 著者（全員とする。共著の間は「,」で区切る）。論文題目、掲載誌名、発行西暦年；掲載巻：引用ページの始-終。
- 雑誌の略名は当該誌が標榜する略称とする。それ以外は、医学中央雑誌の略名表と Index Medicus に準拠する。
- 受理されたが未発刊の文献は末尾に「印刷中」（英文の場合は、in press）と記載する。
- Web ページの引用記載様式は、Vancouver style とする。

例：

- 1) 盧山 晨, 高橋礼奈, 織田祐太郎, 二階堂 徹, 田上順次. Single visit treatment におけるレジンコーティング層と CAD/CAM レジンブロックの厚みがレジメンの接着性能に及ぼす影響. 歯科審美 2020 ; 32 : 111-118.
- 2) Hayashi K, Kurokawa H, Saegusa M, Aoki R, Takamizawa T, Kamimoto A, Miyazaki M. Influence of surface roughness of universal shade resin composites on color adjustment potential. Dent Mater J 2023 ; 42 : 676-682.
- 3) 厚生労働省. 令和 4 年歯科疾患実態調査の概要, <chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcgclefindmkaj/https://www.mhlw.go.jp/content/10804000/001112405.pdf> ; 2023 [2024 年 1 月 12 日アクセス]
- 4) World Health Organization. Global oral health status report: towards universal health coverage for oral health by 2030, <https://www.who.int/team/noncommunicable-diseases/global-status-report-on-oral-health-2022> ; 2003 [accessed 24.01.13]
- 5) 新海航一. ホームホワイトニングにより色調改善したテトラサイクリン変色歯の症例. 歯科審美 2016 ; 28 : 印刷中.

②単行本

a. 単行本

文献番号) 著者名、書名、版数、出版社名；出版社所在都市名：発行西暦年、引用ページの始-終。

例：

- 1) 土屋賢司. 包括的治療戦略修復治療成功のために. 1 版. 医歯薬出版；東京：2010, 10-15.
- 2) Fahl N Jr, Ritter AV. Composite veneers. The direct-indirect technique. 1st ed. Quintessence Publishing ; Batavia : 2020, 1-14.

b. 分担執筆の単行本

文献番号) 分担執筆、分担執筆の表題、編者または監修者、書名、版数、出版社名；出版社所在都市名：発行年、引用ページの始-終。

例：

- 1) 大槻昌幸. 何を選べばいい？ホワイトニングの種類と選択. 宮崎真至編. ホワイトニング New Generation. 1 版. 医歯薬出版；東京：2022, 8-10.
- 2) Rawls HR. Resin-based composites. In : Shen C, Rawls HR, Esquivel-Upshaw JF editors. Phillips' science of dental materials. 13th ed. Elsevier ; St. Louis : 2022, 94-96.

c. 翻訳書

文献番号) 原著者名 (原語). 翻訳者名 (訳または監訳). 翻訳書名. 原著版数. 翻訳書出版社名; 翻訳書出版社所在都市名: 翻訳書発行年, 引用ページの始-終.

例:

- 1) Dawson PE. 小出 馨監訳. ファンクショナル・オクルージョン. 1 版. 医歯薬出版; 東京: 2010, 18-24.

6) 図表

- (1) 図表の枚数は必要最小限にとどめる。
- (2) 表と図 (写真を含む) は本文で引用順に, 表は表 1, 表 2… (Table 1, Table 2…), 図 (写真を含む) は図 1, 図 2… (Fig. 1, Fig. 2…) のように番号をつけ, 原稿ファイルに貼りつける。図表 1 枚ごとに改頁する。
- (3) 図・表にはそれのみで理解できるような説明をつける。図・表の説明は, 付図説明としてまとめる。
- (4) 図をカラー印刷希望の場合には, カラーデータを, モノクロ印刷希望の場合には, モノクロデータを添付する。

〈画像データ作成上の注意点〉

- ・投稿時, 原稿とともに図のデータを送付する。
 - ・データ形式は, 可能な限り jpg とする。
 - ・画像サイズはレイアウトに対応する大きさとし, 画面解像度については写真の場合 300 dpi 以上, 線画の場合 1,200 dpi 以上にすること。
- (5) 図・表を他書誌から転載する場合, 著者が責任をもって転載元の許諾の要否について確認し, 必要な時は転載許諾を取得した後に投稿すること。また, 各図・表の説明文に典拠を明記すること。
 - (6) 症例写真を用いる場合は, 患者の同意を得ること。

7) 投稿方法

原稿は電子メールで送付する。

- (1) 原稿 (表紙, 抄録, 本文, 図表で 1 ファイルにする) は Microsoft® Office Word (以下, Word) 形式とする。図は jpg または pdf, 表は Microsoft® Office Excel, jpg, pdf または Word 形式とする。
- (2) 投稿票・チェックリスト, 承諾書, COI 自己申告書は学会ホームページからダウンロードして使用する。投稿票に必要事項を記載し, 著者自身で投稿原稿内容を確認のうえチェックリストの著者チェック欄にチェックし, スキャンして原稿とともに提出する。承諾書には必要事項を記載し, 著者全員の署名・捺印 (外国人については捺印は不要) を行い, 著者校正返却時に必ず同封して提出する。COI 自己申告書は画像ファイルとして投稿時に提出する。
- (3) ファイル名は, 和文で「著者名」_「原稿・図・表・投稿票」_そしてファイル種類を表す「拡張子」とする。
(例) 審美良子_原稿.docx; 審美良子_図.jpg; 審美良子_投稿票.docx
- (4) 電子メールの件名 (Subject) は「歯科審美投稿論文」とする。
- (5) 投稿原稿は, 歯科審美編集事務局: hensyu5@kokuhoken.or.jp に送付する。念のため CC (Carbon Copy) に, hensyu10@kokuhoken.or.jp を加えること。
- 8) 掲載料は論文 1 編につき, 刷り上がり 2 頁まで無料とし, これを超過した場合は超過掲載料を申し受ける。図版費は全頁を通じ著者負担とする。学会より依頼した論文については掲載無料とする。別刷は 50 部以上とし, 実費著者負担とする。
- 9) 英文論文原稿および英文抄録は, 必要に応じて編集委員会から専門家に校正を依頼し, それに関わる費用は著者負担とする。

連絡・問い合わせ先

一般社団法人 日本歯科審美学会事務局 (一財) 口腔保健協会 歯科審美編集担当

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9 駒込 TS ビル

Tel: 03-3947-8891 Fax: 03-3947-8341 E-mail: hensyu5@kokuhoken.or.jp